續孫栗毛七編

十四下

ヘ 13
3286
32

門へ13
號3286
卷32

昭和十六年一月十一日
尼野貴英氏寄贈

岐曾續膝栗毛七編　下巻

東都　十返舎一九編

本屋の找ものしるし穴猫

雪上松の間やうて。右を高山つ
ちつゝ。ひくゝ八幡石宋くゝそそぎ。本宮川のちゝ
さゝ。さゝ。毅丈の谷ゝ。岩岨よりかけつゝを橋むりい
ゝ。義蔓ゝとりちひて折ゝ。板とおゝ。ゝて往来を通ゝ
ちゝし。赤。近ゝ八修道あゝて。右を岩ゝ樵ゝ樵ゝ
ゝ。人出ゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。

御恵ありがたし。ふるよ蛙芭蕉翁の碑あり。かけしや。命とかゝむ蔦うつゝと。彫つけあるとて

命をも かゝみ時はけふ見るべし

今ゝ さけ ゆく 春の 雪 さく

かくちまきつゝ。やくも法生の墓。建碑こいこ所。

此ゝ蕨ちの 鬼ぶり

さらゝびのあぎり おふしの解ゝれで

弟人ゝ ゝちゝハせよ ゝ利

[illegible] 御関所あり。[illegible]

[illegible] 日行三人 出来 屋の根ちふき切 [illegible]

[illegible] 戸お第 [illegible] 所 [illegible] 出し 接所

[illegible] 茶屋 [illegible] 山形 [illegible]

[illegible] 面の [illegible] 男で [illegible]

かう出合こう。この位でも借てやろうあとの用こそ通
つこう。残念ゴンドウ（十八）ゴンドウ（十八）おもしもなんぞ出てやろ。
さんそのえらとかゝてくんゴトキ
しく。一ぱいきわこう。まろうきゝ一コリヤ
その内のちしこまうなそ
ゴンドウ（十八）ゴンドウ（十八）ゴンドウ（十八）ゴンドウ（十八）
ゴンドウ（十八）ゴンドウ（十八）ゴンドウ（十八）ゴンドウ（十八）
ゴンドウ（十八）ゴンドウ（十八）ゴンドウ（十八）ゴンドウ（十八）
ゴンドウ（十八）ゴンドウ（十八）ゴンドウ（十八）ゴンドウ（十八）
ゴンドウ（十八）ゴンドウ（十八）ゴンドウ（十八）ゴンドウ（十八）
ゴンドウ（十八）ゴンドウ（十八）ゴンドウ（十八）ゴンドウ（十八）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

小
五十公野
相友

さるも坊さまごろう尼されどの〳〵あんごうけう尼ぶ
出〳〵そんなる丈。坊さまよちらひのあるめへそふ〳〵てお出老
さまなる〳〵男ごろう尼ゝとく〳〵お出老さまハ男でだあさで
あのさの〳〵ゝまゝ〳〵そんなるゝそのお出えさまのお大事へ
ゝ尼ゝ
ゝ尼ゝ
ゝ尼ゝ

尾

ソレ〳〵。うらぶ者ア者ら〳〵と。おのこ〳〵ご門ゝとまど〳〵。

ちぶふ〳〵門あらぶどトぶハ。ちひとくてかあ。どころ〳〵ひきもの〳〵。

ゆ〳〵。ぬきんぐる門めんぐく。ちでくも。ほく〳〵。ふう〳〵〳〵。

ほく〳〵。ちそのてぐ。おさ。のふ〳〵ところ。ぬぐうこのであろう

尾

ぶぐんぐ。ちさ。ちさ。のちぐげでく。ひぐく。ぬげちる。

ぬのあり。と門。ぬくさ門せぐ。ぬやろう。ぬがふ〳〵ぶ。ぬく

ぬ。ぬ門ぬぐ。トひぐいうぬ。ぬぬ。ぬぬ。ぬぬ。ぬぬ。ぬぬ。ぬぬ。ぬぬ。ぬぬ。

ぬ。ぬ。ぬ。

比丘尼ごのもの。こと二重ぬ。そのことぞ〳〵やしおそぐ。
まやくぬげぞ。トいちらし。さとこそ。ゆく。ゆくよ。ぞ。これ。ふ。ふ。ふ

四隅の金玉でおさえつけ
あらやまとう門あらぢくぐつ門ちくめでぶぶこつ門でん
のべ。八重くもあるあらぢつ門で理とまちぢの門でかんつ門
門そのまぢり。理が門経るとうへぢふうるべきくぢ
るを門アニ経ぢ捨ぢあるよ。ふくぶ理おさうしふくとぢ
あるぢ。ぢてへ行あがぢあぢおぢるめぢ。ものだけぢ
財へ。あんこうふとちもの門るとうるるめぢだけぢ
ぢへうくぢみぢんぶ門くとうぢげる門るくぢ。ぢまるへ。

サア。つまやまう。ーぢまうふくぢ。ぢまるふくぢ。ぢまるふくぢ。
医者ぢの。ぢの薬ぢふ。ぢ。ぢ。ぢ。
已加減しうる。ぢや。ぢ。ぢむる。
やて。鳥居峠まさ。加五ぢる時。宿ぢるのせまぢ。大
のおぢと。おのうとぢを。ぢとぢく
強人ぢさぢで。寝ぢるおりぢん
ぢあぢう。ぢるの。ぢ。峠。ぢ
ぢて。ぢ。ぢ。井の。ぢる。ぢ。ぢきぢるよ。ぢや。ぢも。西の。ぢの

ぢ
ぢ
ぢ

鳥居峠

ぜんぎろう何てゐ、まるかめうへそんなし初きゆ。二
ぜんぎろう〳〵ゑ五べい。よるる森をはく〳〵ゑ稼へ出と
ろう。服をん稼へハイをそんぎ〳〵市稼こいるし まゆせど
ゑんのゑ。ゑ何ぎろうゑ。ゑ何ぎろうゑどぎるく はく〳〵。いめくま
しんを。ゑ人ぎゆぎ。トぎ。ゑ人ぎゆぎ。トぎ。ゑ人ぎゆぎ。トぎ

おぢゝ　さでおぢゝさゝ　隆　イヤ　高の姫ノ　ト　さきさこ
ろうろうきのがりろみの　流　さよろうのど　流　てなれ　ちでひと　隆　流　ろ　ま
かまて　ぬきさくせ　ゝ　ものゆくまぐろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ
さ　流　ゆもびろ　隆　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ
ろよろいまし　隆　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ
やまし　隆　流　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ
かし。さ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ　ろ
ろ　ろ

ぶ。ゆうべ、ちくさうりの世べイヤ時よりあづかしたいさいしがある。
ふみ　　のうそ
此道をよ。ぶ、ぶ、寺よりよ寺がありやそこの住持へ
ま、しの国りので。ぶ、ぶ、そくしことのぐ。さ門きはそのの
方のと門さ。ぶ、さ今ぶ和尚が来て。今秋寺へ行くか
とらひ、ぶ、ぶ、ぶ

ぞんじやうぶ品今でもわつかさやとう稼ぎたで
ぶぶろ。稼ぎくらのこと。今ばお園せヤまぶ。市ちそうで
ぶぶろ。こりやア和尚ばぶし。ぬ馬鹿ぶ不の山さかる。茶
を限つて。そこぶ寄姫。海嘆。鳥のさうぶでちやまを
八ツ伝よりのち蓋よ。やくうけ。ゑうえれかのと
まつく出酒ひしいあげまを。ぶ。西茶く。お
盃ひとえ。ト清ばさるいろ。ぶ。ぶ。ぶ。
稼ぎ。ぶ。ぶ。ぶ

十返舎
九

あまぞいおやくまこれまで。きのこそこでこざんくさそうの
いかりんざそふ公得てあるさこざんくさんやれざこんくおてら
がるぶで一れやりの沢山よりやきうやこ一れそ。ぶくくさ
くまつりより。今よ森がるきませどよっくしゃ絵又
ごまこ来こる一れ門前の義弟がコ出せまりこ一ムウ
あぜらもこ一あくと難級よ出どころで馬とうせてくれ
このけて来まこ一あくらけくこりくぬらこん者ゃ
ぎうまりまりる。馬ハるかし

なくらうてこれこ一ムあのくとこ人ちうの子孫ま
きんで出て。子ハ多孫紙ハかくくまくくるのくこ。
縄でかくけて。のまくくあうくあげてきざうあまでハ
やくくよこれまんきのざくるきんざきくくこれて、
大きまくこりくくくまあぶ。るがあくくて。多孫ハ
多孫紙ハかくくるりんざまるきあくうくくこ
かうくさのきんざよりそ。義弟がこ為けてかへ門子
あくまで今こくくるとかくよ来くこ。きんのくまざくこと

はけるやうにまりこが出るとなて。弦五郎しあれて。後へ
まわるおちかけさて。白ていらがおりてやくふうをん
う。一廉ふはるんで。草だらけ。おくて見せてだらる。この
ぞくるちんぐて。めりふちんぐぞ。ハイく今ゑうう。そのと
きうのひませど。おなるきん。長侍が寺ひかしきハく
ばるん。野のいまるちへでだるハのしゃ又ぐまとう
来あれと。ちんるよまめるゆ。ちるげとるっりく
西会く。ハりくまる。名村のきん八しめく。役のあく
が来まりさ。あんくのあて。きこ。ばるハ。ちさうハ。
日でらるよ。おせうさるおちさ。おきちさんるゆ。
おぶれて下さい。まて。よちんてかさうまと。ハ
きるをいりぎく。ハヤふくいるをいてありまと。ハ
あせくるゆきる名であんくいハて。あさくん
きんの馬草とはけるやうまりまくう。安てるとんて。話
くうひしあれて。笠人きくうあちまくてあへくがかく
まくくう。むまやるはるんで。草だらけ。おくて見せてく

ざぶさう。が子に表まちまちまるまるまるまるまきのごとくに
きんでぶぶらぶらぶらぶらとうつてゆうまうまうまうまうまう
のまうまう。あぜそんなまうまうまうまうまうまうまうまうまう
いつてやまとまうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまう
あぶいつまうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまう
きんぢうみたものかくまうまうまうまうまうまうまうまうまう
ざつて。ぢうひとさつまうまうまうまうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまう

とうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまう
ぬ。おまうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまう
おんなじおんなじおんなじおんなじおんなじおんなじおんなじ
ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ
あまうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまう
ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ
やあ。まうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまう
かめでぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ
まうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまう

おざうやさま。時よりは酒もたくさんあるべしと
あやく時分なれば。おざうやさまをゝ待ておこさ
いのこゝを待てをるこつち。今はまさまと
トいひつけおせうへいろてゆきしが。ちがくくまるとかろそのくくまれ
ちふくくへちふいのあくきそてだろこきまるゆくざくきそんゆ
やうんくいきくくまくくふくくとくくくざあくくく

生酔の癖

ごぶー　まぐ[illegible]
[illegible]
[illegible]やァ　沢といふ[illegible]
てんまさん。[illegible]。此村の権十といふ[illegible]
乗めく　生れ　とよく[illegible]
おせうが。今頃お[illegible]ある。森のなくまれとられ
[illegible]。[illegible]の[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]やァ[illegible]。[illegible]。

[illegible]
[illegible]
きさま[illegible]
[illegible]
せうさまのお[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

のんで[illegible]

[illegible]おきなさるの。あげませだ。

そんぶんあやア。やくしく ぎぐらう せんさんぐぼ。そうで

るくうさるるよ。糸の唱のをあげてんさせぎら[illegible]

よかろう。西原さく[illegible]きろう せんまし。ちんぐぼのし。

カンショウ ゴロく ヒイーこ引。糸の解さきぐぼのし[illegible]

[illegible]やこく。[illegible]も三ケの洋とまさあらけでぐるし男

ぐぼ。糸の声[illegible]。[illegible]光しきさ。おせうさる。[illegible]

[illegible]おいるいこしやさうぐぼ。[illegible]のうさ

さ[illegible]川ちも糸の新をさぐめて[illegible]さ

ぐうせくるいびきぐ[illegible]おせうさる[illegible]ちさ

よかろうぐ[illegible]

トまたあるうておいさるるもあるし[illegible]

いるこしぐ[illegible]このさら[illegible]

指十八糸[illegible]和尚 [illegible]ちぐれぐ

さくしる糸ぐ[illegible]

かくしく奥ぐて[illegible]

[illegible]八八女[illegible]

ぜんぜんまで大変してゆくのを見る
まもなくしゃ変をかえるうち金子を借るべさち
きちんとかいまうこと出来ぬ物語峠をうち
ぬけ川の狭いいなとこで
金かりておらてはのうるふしぎなろうそ
お稲も　長八　お茶の　山長川
古の古の接待をして休みくしゃ式茶をうたのもべ
おくさまの　おくさうおさうまし　さ川　かうさん物時ごの
まもなくうちまいりまし長ト時てのもらしき男　コリヤ
よくおぼえてせんまいりおるきさお茶あげどろ尾
金山のようなりめんまぐうせ長ん　ふるまんしく
ろんぺきえのよのあるよいうぞる鄭をとりて来て金
とぐくりくいりてかうさ清合てよこりるぐらぐ今うる
ぞぐんうせあらうるんあの川あいあいとい川てあても
皆ん合せことがるんおぐんやろうあごト物くんの
ゆうちありそうゆうゆうの男へあんきる今年まいさへ丹

ごめん。よくおごさうせさ丹ち
ぢよ来ました。親の去てこをいけてよこさうせへさげの
ぢんぢらうこむどこまうる光行がいきてがおうごラ
いけてよこさうせへさんぢらごめうせさとくちりけて
そらうぢらうさでしでけうけ丹ちけてきたりけてきあの
ぢんごよいしてちぢこ。ゴー脊戸の川の拡へ法元
でおねてよんをあげてきてきんてくまきんの
あのよこけたらこうひちろうこゴーううあげて。

コリヤア飛のはのさりんぢよ。祝ひとてあやア。はうへきを
ぢくりけて来ぬしるあ。その明ふやくく来ました
ぢーやアちゃんぢをあ。徒義右男ぢきん
のよのかあ光ちうこ者で。あやて来ぢてうよ元。
あし。やくく来ちりんぢよ。あんぢも白へぢ。ふくけ
のんでいけうちをア丹ちリヤこ。ぢるぢゴー法ちのへで
来ましぢ。ゆみよちうまさけ見八テ。やくくもちを元
ゆちうこぢぢ。さんゴ元のえんぢ。ア。あぢをちやア丹ちそへ

江戸名所

ぶ〜あぶ〜せぼぼ〜ぶ〜のこそこそ〜ハ世ハ〜ハんぶ。後屋
のぢのこそ〜。今朝鶯とこそ〜ハ世ハ〜ハ〜ぶ。あ〜ハ〜ハ〜ハんぶ
こそ〜ぶ〜。あぶこと夢て〜ハ世ぼ〜こて〜ぶの〜ぶ。あん
あせぼこのめ〜ハ〜ぶ〜夢〜このぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶん
あ〜ぶのこと。ぶこと時分で。ぶ〜ぶ〜夢て。山桜こと
こ〜ぶ〜て〜ハ世ぼこ〜ぶで酒と。ぼぶ盃のんで〜ぶこんぶ
ぶ〜ぶ〜ぶ。そ〜ハのぶ〜ぶ酒とぶ
ぶのぶ〜ぶ。ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶのぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜

山形色よ。出たる日あり。その手はぐ八ハりやハけをはく
ぐそうさ
はなはだ
はなはだ
はらハ
はらハ
はらハ

本清

月の明(あか)るいばぐらい中(ちう)まで。月(つき)でもくもりさえしなければ。
でかけところだうまとてくがあるてりんごうしもくち
きれいで。ぬくとくしぐ。あんまりあつ(淺)ければ出(で)
中(ちう)とく。あんまりおそくなるとうちくくしきんてぬ中(ちう)とそのうち。おくれてくるこれ
だうりの。お(御)使(つかひ)をして。そのあとから後(あと)からとやうど。
ちうちうで中食(ちうじき)をつくるとうとうとの
ちうちうで中食(ちうじき)をつくるとうとうとの